
GlobalFlow5 1.00R06

リリースノート

パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社

2007 年 4 月 27 日

製品情報

=====

バージョン : Ver.1.00R06

=== 変更内容 ===

=====

新機能

=====

文書の末尾に「※」印がある機能をご利用の場合は GlobalDoc5 が必要です。

■Web アプリケーション

- ・ タイムスタンプ機能を追加し、Doc 保存したアーカイブデータに対する原本保証に対応しました。※
-

機能拡張

■Web アプリケーション

- ・ テンプレート管理画面と RDBMS 保存アクティビティ画面で他システムのデータベースを設定する場合、接続先 URL の入力値をシステムで登録されたものに限定できるようにしました。
- ・ テンプレート管理画面で設定している回付が終了した書類の保存日数を、システム環境設定画面で設定できるようになりました。
- ・ 機密文書管理機能を利用する環境で、画面にロードされる ActiveX のサイズを軽量化しました。
- ・ ユーザー情報画面で、使用言語とパスワードの変更ができるようになりました。
- ・ 環境設定画面で、シングルサインオンの認証時にエラーが発生した場合の動作を、「ログイン画面へ遷移する」、または「認証エラー画面を表示する」に設定できるようになりました。

■サーバーツール

- 以下のサーバーツールにログ出力のオプションを追加しました。
 - ユーザー・グループ情報出力ツール(gf_export_user)
 - ユーザー情報設定ツール(gf_set_userinfo)
 - グループ情報設定ツール(gf_set_groupinfo)

□仕様変更

■Web アプリケーション

- Netscape 7.1 に対応しました。
- ユーザー一覧の部署・役職による絞込みを前方一致から部分一致に変更しました。
- グループを未指定で、ユーザーに役割を設定できるように変更しました。

■サーバーツール

- ユーザー・グループ情報出力ツール(gf_export_user)、ユーザー情報設定ツール(gf_set_userinfo)で、Global4 のユーザー情報のセキュリティグループを、Global5 の役割に移行する際に、グループ未指定の役割(セキュリティロール)で移行するように変更しました。1.00R05 以前は、セキュリティグループを「代表グループ+セキュリティロール」で移行していました。

□不具合修正

■Web アプリケーション

- 簡易編集機能で作成した帳票を起案するとき、必須入力のエラーメッセージが起案処理の確認メッセージの後に表示される不具合を修正しました。
 - 承認アクティビティ設定で、“承認者が存在しない場合の処理をスキップする”にしても、宛先一括設定画面で承認者を設定しない場合はエラーが発生する不具合を修正しました。
 - 承認アクティビティ設定で、“直前の承認者による承認者の変更を許可しない”にした場合、“承認者が存在しない場合の処理をスキップする”にしても、設定を保存できない不具合を修正しました。
-